



県政ハイライト 県政ハイライト



▲11.13 第22回熊本県統計大会が県庁大会議室で開かれた。当日は、統計事務功労者の表彰や統計図表コンクール入選者の表彰が行なわれた。



▲11.24 年齢50歳以上で、同一事業所に30年以上勤務し、功績のあった人たちに勤労者表彰が、知事応接室で行なわれた。



▲12.1 第8回熊本県農林漁業祭が県庁大会議室で開かれ、農林漁業の振興に功労のあった人たちの表彰などで盛会だった。



▲12.10 電子制御装置のトップメーカー立石電気の山鹿市進出がきまり、知事応接室で協定書の調印が行なわれた。



▲12.10 熊本県総合農政対策本部（本部長 寺本知事）の設立総会が開かれ、12日に発足した。



▲12.11 大牟田・荒尾地区に建設中の三井アルミと県の間で、フッ化水素等の規制についての公害防止付属協定を結び、その協定書調印式が県庁知事応接室で行なわれた。



▲12.15 道路公団は、県庁で開かれた「九州縦貫自動車道熊本以南建設促進期成会」で、託麻・松橋3.3%の路線を発表した。



▲12.23 県恒例の児童福祉施設年末慰問が県下36施設で行なわれ、菓子セットやおもちゃなどを贈った。写真は大江学園慰問の寺本知事。

県政ハイライト★KENSEI HAIRAITO★けんせいはいらいと★県政ハイライト★

青信号が 魔の信号に

梅沢由紀子
(14才)

三月三日午前一時ごろ、青信号で渡っていたおかあさんとお姉さん二人が、自家用車にはねられた。おかあさんは、意識不明で病院へ運ばれ手術がはじめられた。お姉さんも病院に運ばれたが、命にべつじょうなかつた。

酸素吸入をしていた痛々しそうなおかあさんを見たとき、目からは、つぎつぎと涙がこぼれおちた。

おかあさんの右手が自然に動きだし、にぎったり、開いたりしていた。——おかあさんがんばって——と心の中でさげんでも、なにもしてあげられない私は、ただぼう然と見守るだけだった。数時間後、手術がおわって病室に運ばれた。せめて、意識が回復してくればと思った。しかし、願ひもむなしく三月十日、午前六時ごろ静かに息をひきとった。

——青信号で渡っていたのに——と思うとくやくしくてたまらない。たとえ、青信号でも安心できないのだ、ということがわかりすぎるほどわかつたのだった。

私は末っ子で、かわいがられて育つたのでこの事故は大きなショックだった。「またことしも旅行に行こうね」と、言つて夏休みを楽しみにしていたのに……。おいしい食事をつくってくれたのに……。でも、もうおかあさんは帰らぬ人となつてしまつたのだ。

私達家族は、精神的に強い打撃をうけた。これからは、もっと楽しい家庭をつくらう、と思つた希望がモロに打ちくだかれ、心に傷となつて残るのだ。

交通事故防止の対策をただ考えるだけでなく、実行の方も力強くしてほしい、と思う。

〔注〕交通事故遺児を励ます会編「天国にいるおとうさま」から抜粋